



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月13日

上場会社名 株式会社アカツキ 上場取引所 東  
 コード番号 3932 URL https://aktsk.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩田 元規  
 問合せ先責任者 (役職名) CFO (氏名) 米島 慶一 TEL 03 (5422) 7757  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	32,048	13.9	11,053	△18.9	10,779	△20.2	6,620	△15.8
2019年3月期	28,130	28.3	13,635	29.4	13,502	28.9	7,858	29.2

(注) 包括利益 2020年3月期 6,619百万円 (△15.8%) 2019年3月期 7,861百万円 (29.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	476.29	453.80	24.6	26.9	34.5
2019年3月期	567.67	539.54	38.9	40.7	48.5

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	42,367	30,223	71.3	2,166.58
2019年3月期	37,843	23,757	62.7	1,711.54

(参考) 自己資本 2020年3月期 30,194百万円 2019年3月期 23,731百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	7,271	△4,629	△612	23,204
2019年3月期	7,819	△7,378	772	21,176

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	40.00	—	10.00	50.00	694	8.8	3.4
2020年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	419	6.3	1.5
2021年3月期(予想)	—	30.00	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 2020年3月期における1株当たり期末配当金については、10円から30円に変更しており、2021年3月期の中間配当金については30円としております。詳細については、本日(2020年5月13日)公表いたしました「配当方針の変更及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 2021年3月期の期末配当につきましては、現時点で業績予想が困難であることから未定としております。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

当社グループは、モバイルゲーム事業の短期的な事業環境が激しく変化する不確定要素が多いことに加え、IP創出やグローバルゲームへの新しい挑戦を実施していく方針であり、適正かつ合理的な数値の算出が非常に困難であります。そのため、今後につきましては、四半期毎の決算や事業の概況の適時な開示に努めることにより、通期の業績予想については開示しない方針とさせていただきます。詳細につきましては、添付資料P3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
 新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー  
 （注）当期における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	13,975,500株	2019年3月期	13,902,600株
② 期末自己株式数	2020年3月期	38,956株	2019年3月期	36,760株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	13,900,380株	2019年3月期	13,843,780株

(注) 1. 株式給付信託（J-ESOP）により信託口が保有する当社株式（2020年3月期：38,594株、2019年3月期：36,635株）を、自己株式に含めて記載しております。  
 2. 株式給付信託（J-ESOP）により信託口が保有する当社株式（2020年3月期：34,578株、2019年3月期：19,424株）を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めて記載しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	29,415	9.6	11,732	△18.6	9,891	△23.4	6,605	△14.3
2019年3月期	26,844	23.0	14,412	30.5	12,906	17.5	7,707	32.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	475.23	452.79
2019年3月期	556.77	529.18

(注) 株式給付信託（J-ESOP）により信託口が保有する当社株式を、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2020年3月期：34,578株、2019年3月期：19,424株）。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	41,602	30,027	72.1	2,152.51
2019年3月期	37,011	23,577	63.6	1,698.54

(参考) 自己資本 2020年3月期 29,998百万円 2019年3月期 23,551百万円

(注) 株式給付信託（J-ESOP）により信託口が保有する当社株式を、1株当たり純資産の算定上、事業年度末の発行済株式総数から控除する自己株式に含めております（2020年3月期：38,594株、2019年3月期：36,635株）。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料における将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

決算説明資料は2020年5月13日に当社WEBサイトに掲載いたします。

また当社は2020年5月14日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の回復及び設備投資の増加を背景に景気の緩やかな回復が見受けられたものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて足下では大幅に下押しされております。新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況は今後も続く見込まれており、内外経済をさらに下振れさせるリスクや金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があるなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属するモバイルゲーム業界を取り巻く環境につきましては、2019年の世界のモバイルゲーム市場は前年比3.3%増の7兆1,840億円と推計されており(出典:「ファミ通モバイルゲーム白書2020」)、引続きグローバルで堅調に成長し続ける業界であると考えられております。

このような環境の中、当社グループのモバイルゲーム事業につきましては、より高いクオリティとユーザー体験にこだわり、タイトルを厳選して開発・運用していく方針の下、既存タイトルの堅実な運用と新規タイトルの開発に努めてまいりました。当社グループの主力タイトルである「ドラゴンボールZ ドッカンバトル(株式会社バンダイナムコエンターテインメントより配信)」国内版につきましては、2020年2月の5周年イベントでストアセールスランキング1位を獲得するとともに、「ロマンシング サガ リ・ユニバース(株式会社スクウェア・エニックスより配信)」につきましても、2019年12月の1周年記念イベントの開催によりストアセールスランキング(注)1位を獲得するなど、モバイルゲーム事業の新たな収益の柱として好調に推移いたしました。また、2019年9月にリリースしました櫻坂46・日向坂46応援[公式]音楽アプリ「UNI'S ON AIR(ユニゾンエアー)」につきましては、リリース初日、及びTVCM放送に合わせた大型イベント開催時に、ストアセールスランキングで最高7位を獲得するなど、複数タイトルによる収益構造がより強固となりました。

一方、当社グループのライブエクスペリエンス事業(以下、「LX事業」という)につきましては、リアルエンターテインメント領域への取り組みを積極的に行い、2019年3月にオープンしました横浜駅直通的複合型体験エンターテインメントビル「アソビル」でのコンテンツ「Puchu!」や「うんこミュージアム」のブランド化及び横展開を行ってまいりましたが、全体として、より効率的な体制にシフトいたしました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高32,048万円(前期比13.9%増)、営業利益11,053百万円(前期比18.9%減)、経常利益10,779百万円(前期比20.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益6,620百万円(前期比15.8%減)となっております。

なお、当社グループは、全セグメントに占める「モバイルゲーム事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメントごとの記載を省略しております。

(注) ストアセールスランキング: App Store またはGoogle Playのセールスランキング

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて4,524百万円増加し42,367百万円となりました。主な要因として、現金及び預金の増加2,032百万円及び投資有価証券の増加3,224百万円によるものであります。

#### (負債)

当連結会計年度末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて1,941百万円減少し、12,144百万円となりました。主な要因として、納付等に伴う未払法人税等の減少1,739百万円によるものであります。

#### (純資産)

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べて6,465百万円増加し30,223百万円となりました。主な要因として、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等に伴う利益剰余金の増加6,481百万円によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2,028百万円増加し23,204百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、営業活動の結果得られた資金は7,271百万円(前連結会計年度は7,819百万円の獲得)となりました。これは主に、法人税等の支払額4,999百万円があった一方で、税金等調整前当期純利益9,880百万円の計上、減損損失821百万円の計上、売上債権の減少589百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、投資活動の結果支出した資金は4,629百万円(前連結会計年度は7,378百万円の支出)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入851百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出877百万円、投資有価証券の取得による支出3,672百万円、子会社株式の取得による支出535百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、財務活動の結果支出した資金は612百万円(前連結会計年度は772百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出350百万円、自己株式の取得による支出153百万円、配当金の支払額139百万円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

2021年3月期以降につきましては、モバイルゲームを今後も事業の軸として、国内展開だけでなく、海外展開についてもこれまで以上に推進してまいります。また、創業時からの最大の強みを活かし、ポテンシャルの高い「IP・ライセンス」創出および世界のゲームトレンドを見据えた「グローバルゲーム」の2領域に挑戦し、飛躍的な成長を実現することで、ゲームを軸としたIPプロデュースカンパニーを目指してまいります。

具体的には、モバイルゲーム事業において、既存タイトルの長期運用に引続き注力するとともに、新規のモバイルゲームの開発やグローバルゲームの仕込みを進めてまいります。また、今後より重点投資していく「IP・ライセンス」創出については、これまでの取り組みを踏まえて投資・トライを進めてまいります。

一方、その他の事業については、原則として今後大きな投資はせず、それぞれ自立運営を目指していく方針であります。そのため、LX事業においては、「アソビル」で生まれた「うんこミュージアム」や「puchu!」などのコンテンツを軸に、収益化と自立運営を目指してまいります。また、国内スタートアップ企業への投資は順調に進捗していることから、予算枠を設定したうえで投資を継続してまいります。なお、海外企業への投資については、当社グループの事業戦略に合わせた戦略投資のみにフォーカスしてまいります。

以上を踏まえた2021年3月期の業績見通しにつきましては、モバイルゲーム事業の短期的な事業環境が激しく変化する不確定要素が多いことに加え、IP創出やグローバルゲームへの新しい挑戦を実施していく方針であり、適正かつ合理的な数値の算出が非常に困難であるため、開示しない方針とさせていただきます。

なお、業績見通しが適正かつ合理的に算出できる状況になりましたら、適時に開示する方針でございます。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,276	26,308
売掛金	6,127	5,537
その他	1,582	1,981
流動資産合計	31,985	33,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,375	1,164
減価償却累計額	△131	△347
建物及び構築物(純額)	1,244	816
工具、器具及び備品	350	431
減価償却累計額	△132	△250
工具、器具及び備品(純額)	217	181
建設仮勘定	188	—
その他	31	24
減価償却累計額	△10	△16
その他(純額)	21	8
有形固定資産合計	1,671	1,007
無形固定資産		
ソフトウェア	80	85
無形固定資産合計	80	85
投資その他の資産		
投資有価証券	2,876	6,100
繰延税金資産	475	477
その他	778	983
貸倒引当金	△24	△112
投資その他の資産合計	4,105	7,449
固定資産合計	5,857	8,541
資産合計	37,843	42,367

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	636	979
1年内償還予定の社債	—	2,000
1年内返済予定の長期借入金	350	599
未払法人税等	2,868	1,129
賞与引当金	141	271
株式給付引当金	166	239
その他	2,103	1,649
流動負債合計	6,266	6,867
固定負債		
社債	5,000	3,000
長期借入金	2,808	2,208
その他	11	68
固定負債合計	7,820	5,276
負債合計	14,086	12,144
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,743	2,756
資本剰余金	2,742	2,755
利益剰余金	18,424	24,906
自己株式	△171	△215
株主資本合計	23,739	30,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3	△5
為替換算調整勘定	△3	△2
その他の包括利益累計額合計	△7	△8
新株予約権	25	28
純資産合計	23,757	30,223
負債純資産合計	37,843	42,367



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	28,130	32,048
売上原価	7,348	10,445
売上総利益	20,782	21,603
販売費及び一般管理費	7,146	10,549
営業利益	13,635	11,053
営業外収益		
受取利息	10	6
受取配当金	9	—
助成金収入	1	14
協賛金収入	5	6
その他	13	7
営業外収益合計	40	34
営業外費用		
支払利息	43	34
社債発行費	46	—
為替差損	17	26
支払手数料	23	—
出資金運用損	—	125
貸倒引当金繰入額	24	88
その他	17	33
営業外費用合計	172	308
経常利益	13,502	10,779
特別利益		
事業譲渡益	30	43
投資有価証券売却益	—	682
特別利益合計	30	725
特別損失		
固定資産除却損	25	—
投資有価証券評価損	429	671
投資有価証券売却損	24	106
事務所移転費用	—	25
減損損失	1,128	821
特別損失合計	1,608	1,625
税金等調整前当期純利益	11,924	9,880
法人税、住民税及び事業税	4,169	3,260
法人税等調整額	△104	△0
法人税等合計	4,065	3,259
当期純利益	7,858	6,620
親会社株主に帰属する当期純利益	7,858	6,620

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	7,858	6,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△2
為替換算調整勘定	△3	1
その他の包括利益合計	2	△1
包括利益	7,861	6,619
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	7,861	6,619
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,732	2,731	11,322	△67	16,719
当期変動額					
新株の発行	10	10			20
剰余金の配当			△693		△693
親会社株主に帰属する当期純利益			7,858		7,858
自己株式の取得				△149	△149
自己株式の処分				45	45
連結範囲の変動			△62		△62
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	10	10	7,102	△103	7,019
当期末残高	2,743	2,742	18,424	△171	23,739

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△9	△0	△9	26	16,736
当期変動額					
新株の発行					20
剰余金の配当					△693
親会社株主に帰属する当期純利益					7,858
自己株式の取得					△149
自己株式の処分					45
連結範囲の変動					△62
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5	△3	2	△0	1
当期変動額合計	5	△3	2	△0	7,021
当期末残高	△3	△3	△7	25	23,757

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,743	2,742	18,424	△171	23,739
当期変動額					
新株の発行	13	13			26
剰余金の配当			△139		△139
親会社株主に帰属する当期純利益			6,620		6,620
自己株式の取得				△153	△153
自己株式の処分				108	108
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	13	13	6,481	△44	6,464
当期末残高	2,756	2,755	24,906	△215	30,203

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△3	△3	△7	25	23,757
当期変動額					
新株の発行					26
剰余金の配当					△139
親会社株主に帰属する当期純利益					6,620
自己株式の取得					△153
自己株式の処分					108
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2	1	△1	3	1
当期変動額合計	△2	1	△1	3	6,465
当期末残高	△5	△2	△8	28	30,223

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	11,924	9,880
減価償却費	130	394
のれん償却額	137	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	97	130
株式給付引当金の増減額(△は減少)	127	73
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23	88
事業譲渡損益(△は益)	△30	△43
固定資産除却損	25	—
事務所移転費用	—	25
投資有価証券評価損益(△は益)	429	671
投資有価証券売却損益(△は益)	24	△575
減損損失	1,128	821
受取利息及び受取配当金	△19	△6
支払利息	43	34
社債発行費	46	—
為替差損益(△は益)	13	1
出資金運用損益(△は益)	—	125
売上債権の増減額(△は増加)	△1,722	589
その他の資産の増減額(△は増加)	△701	△380
仕入債務の増減額(△は減少)	64	342
その他の負債の増減額(△は減少)	△129	178
その他	91	△52
小計	11,704	12,298
利息及び配当金の受取額	19	6
利息の支払額	△43	△34
法人税等の支払額	△3,861	△4,999
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,819	7,271
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,373	△877
無形固定資産の取得による支出	△89	△92
貸付けによる支出	—	△79
投資有価証券の取得による支出	△2,011	△3,672
投資有価証券の売却による収入	—	851
子会社株式の取得による支出	△915	△535
その他	12	△223
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,378	△4,629
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
社債の発行による収入	1,953	—
長期借入れによる収入	2,076	—
長期借入金の返済による支出	△2,432	△350
株式の発行による収入	20	26
自己株式の取得による支出	△149	△153
配当金の支払額	△693	△139
その他	△1	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	772	△612
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,196	2,028
現金及び現金同等物の期首残高	19,746	21,176
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	232	—
現金及び現金同等物の期末残高	21,176	23,204

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、全セグメントに占める「モバイルゲーム事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,711.54円	2,166.58円
1株当たり当期純利益	567.67円	476.29円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	539.54円	453.80円

(注) 1. 株式給付信託(J-ESOP)により信託口が保有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度36,635株、当連結会計年度38,594株)。また、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度19,424株、当連結会計年度34,578株)。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	7,858	6,620
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	7,858	6,620
普通株式の期中平均株式数(株)	13,843,780	13,900,380
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	721,775	688,867
(うち新株予約権(株))	(721,775)	(688,867)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概 要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。